

建築内に緑が浸透し、
人々の活動が屋外に広がる、
建築とランドスケープが融合した
「立体的な公園」



新施設は、ホールや会議室だけでなく、
図書館や子育て支援、プラネタリウムや市民活動センターなど
多様な機能を備えた複合施設。

7層の床を貫く“縦の道”が
それぞれ別の目的で来た人をつなぎ
縦の道に巻き付くように、
各フロアにはオープンスペースや
読書スポット、緑あふれるテラスなどが設けられ、
“誰もがいつでも自由に”
滞在することができる。



1階(多目的ホール、エントランス広場、オープンギャラリー)

室内化された広場と開閉可能な多目的ホールを組合せ、
多様な活動を誘発



2階(子育て世代包括支援センター)

妊娠期からの切れ目のない支援をワンストップで提供



4階・5階（大ホール） 市民の“ハレの場”

シンプルな構成で優れた音響による
市民が使いやすいホール
様々な演目を実現し多彩な演出に応える
高水準の可変舞台



5階・6階(図書館) 『Book Park』

開放的で、一人でも子どもと一緒に、
さまざまな人が気軽に訪れ過ごすことのできる
「本の公園」のような空間



7階（市民活動センター・プラネタリウム）『みんなのえんがわ』

人と人、人と活動、人とまち、
ゆるやかにつなぐ役割を展開し、
誰もが訪れたいくなる「みんなのえんがわ」



キーコンセプトは

「育てる広場」

この場所をどう使い、どう活動し、
どう変えていくかは、
市民自身で考え、
市民自身の手により、
「育てる広場」として
作り上げていく

